



日本グループホーム学会 2008年度

サービス管理責任者等研修会

「グループホーム・地域生活支援のイノベーションを目指して」

開催のご案内

### 第3研修 プログラム

島根 テーマ	グループホームスタッフの育成…話し合うこと、高めあうこと		
会場 島根県民会館			
第3回	3/8 10:30～	① 調査報告 サービス管理責任者実態調査(2008)報告	
	(日) 11:00～	② 基調講演・課題整理 サービス管理責任者の意義と役割	山田 優 (日本GH学会副代表・研修運営委員長)
	12:30～13:30	休憩	
	13:30～	③ 課題と方法 世話人・スタッフはどんなことに悩んでいるか? —世話人実態調査より	加川 充浩 島根大学
	14:30～	④ ワークショップ・グループ討議 スーパーヴァイズの方法と演習	京 俊輔 島根大学
	16:00～	⑤ まとめ	

◎第3研修では、グループホームスタッフの育成をテーマに、地元講師(島根大学)も及びして、

○世話人・スタッフはどんなことに悩んでいるか?—世話人実態調査より

講師:加川充浩さん(島根大学)

○スーパーヴァイズの方法と演習

講師:京 俊輔さん(島根大学)

を実施します。

入居者一人ひとりに日々接する世話人、生活支援員は、個別支援計画の策定と支援の実施の中核です。個別支援計画の責任者であるサービス管理責任者には、何が求められているでしょうか?

.....グループホームスタッフの育成が、鍵を握っているのです。

※もれなくご記入の上、下記住所に郵送、またはFAXでお送りください。

送付先 〒690-0036 島根県松江市東忌部町 3173-1 社会福祉法人さくらの家

FAX:0852(33)2688

締切日は、2月末日です。定員30名(人数により次第締め切ります)

**参加申込書**

氏名	法人名
法人住所	TEL連絡先
職名 1.サービス管理責任者 2.世話人 3.生活支援員 4.その他 具体的に( ) 実施している事業(全てに○) 1.ケアホーム 2.グループホーム	

グループホームスタッフ研修用  
「ゲーミング シュミレーション カード」（仮称・名称募集中！）の、  
事例集めにご協力ください。

○「判断に困った…」、そういう事例を探しています。「今から思えば、違う選択もあったかもしれない…」、「今でも、まだ、悩んでいる…」、そういう援助場面、難しい判断に迫られることが、実際働いているとありませんか？

○今、グループホーム学会では、グループホーム（ケアホーム）スタッフ研修に使う、ゲーミング・シュミレーション・カードを開発中です。YES/NOの判断が難しい事例をもとに、ゲーム形式でグループ討議をし、問題を多角的に見つめる目をやしなうこと、自分の意見を述べて、他人の意見を聴き、話し合うこと等を目指します。

○そこで、サービス管理責任者研修にあわせて、経験豊富な皆さんから、「判断に困った」「あの時の判断としては、あれでよかっただろう。でも、今から思えば、違う選択もあったかも」、そういう事例を是非ご提供ください。

○事例は、サービス管理責任者としてだけではなく、

※世話人として、生活支援員として等の、援助場面での出来事（入居者の方との出来事）

※親・親族との出来事

※グループホームのご近所さんとの関係・自治会活動・地域活動等での出来事

※職員間での出来事、法人・運営主体での（との）出来事

※他の事業所・行政・機関との出来事

※医療機関や貿物先、交通機関、上下水道、電気・ガス・電話…等の利用時

等など、様々な相手や場面で、「判断に困ったこと」です。先の例以外にも、もっとあるかもしれません…。「ホームのすぐそばで、蛇が出た…」とか、「軒下に巨大な蜂の巣が…」、「雪かきでいっぱい…」というのも。

○ご提供いただいた事例は、プライバシーに配慮し、加工の上、より簡略化した形で、課題カードにします。その点は、ご理解、ご安心下さい。どうぞ、沢山の事例を御教えいただけますよう、お願い申し上げます。

【次の要素を念頭に、事例をお書きください】

●判断に困ったのは、サービス管理責任者として・世話人として・○○として？ ●どんな援助場面で・どんな仕事中に？ ●誰に対すること・誰に関係したこと？ ●どんなことが起きた？ ●どんな判断に迫られた？ ●選んだ判断は？なぜ、その判断をした？ ●判断の結果は？ ●それ以外の、選択肢を想像すると？ ●今、思うと…？

【事例を、お書きください。】

どうも、ありがとうございました。複数の事例をご提供くださる際は、スタッフに追加の用紙をお申し付けください。